

平成27年度 有老協サービス第三者評価結果

ホームID	ホーム名	法人名	評価日
2709	ドーミー城北公園	(株)共立メンテナンス	H28.1.5
有老協HPでの評価結果公表希望		有	
評価機関	特定非営利活動法人 福祉経営ネットワーク		

評価結果

スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	A	B	2.3.4	A	A	6.2.1	非	非
1.1.2	B	B	2.3.5	A	A	6.2.2	非	非
1.1.3	A	C	2.3.6	A	A	6.2.3	非	非
1.1.4	A	A	2.3.7	B	B	6.2.4	非	非
1.2.1	A	B	2.3.8	B	B	6.2.5	非	非
1.2.2	A	C	2.3.9	A	A	6.2.6	非	非
1.2.3	A	A	2.3.10	A	A	6.2.7	非	非
1.3.1	B	A	2.3.11	A	A	6.2.8	非	C
1.3.2	A	A	2.4.1	B	B	6.2.9	非	A
1.3.3	B	A	2.4.2	B	B	6.3.1	非	非
1.4.1	B	B	2.4.3	A	A	6.3.2	B	A
1.4.2	A	A	2.4.4	A	A	6.3.3	C	C
1.4.3	A	A	2.4.5	A	A	7.1.1	非	C
1.4.4	A	A	2.4.6	A	A	7.1.2	A	A
1.4.5	A	A	3.1.1	A	B	7.2.1	非	A
1.4.6	A	A	3.1.2	A	A	7.3.1	非	非
1.4.7	A	A	3.1.3	A	A	7.3.2	非	非
1.4.8	B	B	3.1.4	B	C	7.3.3	非	A
1.5.1	A	A	3.1.5	非	非	7.3.4	非	非
1.5.2	A	B	3.1.6	A	A	7.4.1	非	非
1.5.3	B	B	3.1.7	A	A	7.4.2	非	非
2.1.1	A	B	4.1.1	A	A	7.4.3	非	非
2.1.2	A	A	4.1.2	C	C	7.4.4	非	非
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	非	B
2.2.2	A	A	4.1.4	A	A	7.5.1	非	非
2.2.3	A	A	4.2.1	A	A	7.5.2	非	非
2.2.4	A	C	4.2.2	A	A	7.5.3	非	B
2.2.5	A	A	5.1.1	B	B	7.5.4	非	非
2.2.6	A	A	5.1.2	A	A	7.5.5	非	非
2.2.7	A	A	5.2.1	非	A	7.5.6	非	B
2.2.8	A	C	5.2.2	B	B	7.5.7	非	A
2.2.9	A	A	5.2.3	A	A	7.6.1	A	A
2.2.10	B	B	5.2.4	非	A	7.6.2	非	A
2.2.11	C	C	5.2.5	非	非	7.6.3	非	C
2.3.1	非	非	6.1.1	非	非			
2.3.2	非	B	6.1.2	B	A			
2.3.3	A	A	6.1.3	非	A			

評価機関の所見

1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所見
2-2-2	入居体験希望があった際は、空いている部屋であれば希望に応じて居室を選択することができるように配慮している。さらに、入居体験中は、希望者のADL等状況を詳細に記録している。入居が決定した際には記録から受け入れにあたって方針、対応を検討し、入居者が安心して、円滑に受け入れられるよう体制を整備している。体験から入居に至るプロセスを意識した取り組みが行われている。
4-2-2	月に2回の映画の日や朗読の会、健康体操など様々な運動や娯楽などの楽しみを計画している。また、季節ごとに納涼祭やクリスマス会、作品展などのイベントを企画し、終了後には反省会を開いて総括しており、次回に反映されるよう努めている。さらに、入居者の希望を聞き取りながら春の日帰り旅行や秋の1泊バスツアーなどにも取り組み、多くの入居者や家族等の参加が得られている。
5-1-2	日々の食事に対する要望や意見は、食堂入口に置かれた意見箱の他、配膳・下膳の際に直接聞き取っている。さらに、運営会議などでも意見を収集しており、それらを厨房チーフや法人の管理栄養士に伝えている。また、献立作成の際には、入居者のニーズに応えようと取り組んでおり、要望を踏まえたサラダバイキングや選べる小鉢、寿司パーティなどのイベント食や選択食で喜ばれる食事の提供に努めている。
7-1-2	住宅型老人ホームとして少数の職員で対応しているが、日中通報があった場合にはフロント係が通信システムで確認し、必要に応じて居室訪問している。また、夜間帯の緊急通報に於いても夜勤者が確認の上対応するほか、介護士の資格を持っているため、状況に応じた対応が可能であるとともに、警備会社や支配人との連携により、迅速な対応で安心感につながっている。

2. さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点

スケール	所見
1-1-3	法令遵守、企業理念、コンプライアンスルールについて法人で研修を行っている、またコンプライアンス委員会を設置し、周知を図っている。しかし、法令遵守、企業理念、具体的な行動指針については、作成まで至っていない。公益社団法人全国有料老人ホーム協会が提示するモデルを参考に、ホームの実態に適応した自主行動基準の策定が求められる。
2-2-8	ホームからの入居契約解除要件について、7項目の解除要件に該当する場合に、1ヶ月の猶予期間を設けて契約を解除できることとしている。入居者が認知症等の症状によりホームとして適切な介護ができなくなった場合には、身元引受人と協議の上、契約を解除できるとしている。しかし、入居者に対し、弁明の機会を与えるようには規定していない。厚労省の指針においては弁明の機会を与えることを求めており、契約書の見直しが求められる。
2-2-11	入居契約の終了に伴う居室の原状回復について契約書上に定めがない。また、同様の内容を定めた入居者に配布する取扱文書も確認できなかった。国土交通省の原状回復ガイドラインを踏まえて、通常の使用により生じた居室の損耗については、原状回復の対象外とする旨を契約上または取扱規定で定めることが望まれる。さらに、内規としてこれを定めることが望ましい。
6-2-8	年に4回法人の会報を発行するほか、春夏秋冬の季節ごとに行事の写真やこれからの予定などを盛り込んだホームの広報紙「けやき通信」を作成しており、各々入居者に配布するとともに家族等にも送付している。今後は毎月、入居者の近況やホームの状況などを家族等に報告する他、入居者との交流の機会促進のために、家族等の行事やイベントへの参加など、さらなる工夫や取り組みに期待したい。